

**平成28年度から新たに
取組んでいる総合戦略事業**

平成28年8月26日

第6回富良野市総合戦略有識者会議提出資料

出会いサポーターの募集

出会い総合サポート室の設置

市では、本年度からふれあいセンター(旧老人福祉センター)内に「出会い総合サポート室」を設置し、専任職員を配置して、行政として結婚のきっかけとなる「出会い」の支援をスタートしました。

出会い総合サポート室では、出会いの相談や支援を行い、地域の世話役としての「出会いサポーター」を募集しています。



出会いサポーターの募集要件

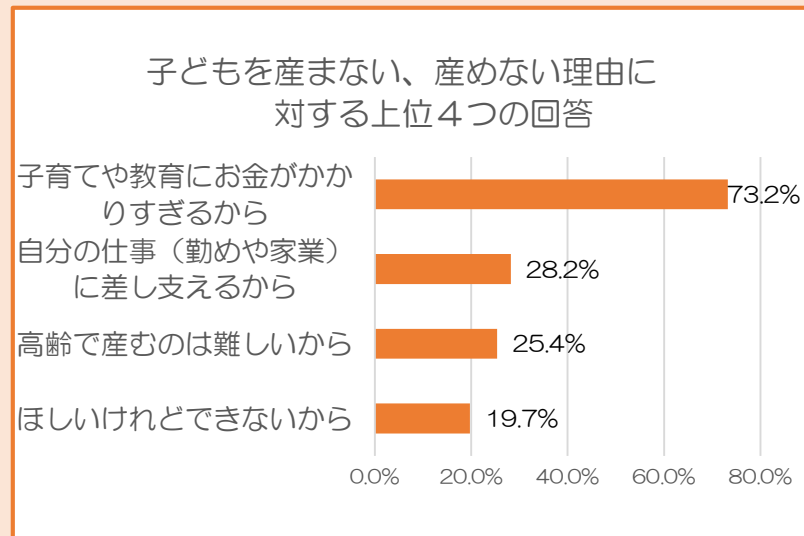
- 男女の出会いの支援に関心がある方
- ボランティアとして活動できる方
- 比較的自由に活動できる方
- 20歳以上の健康な方
- 守秘義務の遵守など、サポート室が定める注意事項等を守れる方

出会いサポーターの活動内容

- 出会い登録・相談に関すること
- 出会いサポート事業への提言・補助
- 出会いに関する情報提供・情報交換

特定不妊治療費助成事業の創設

事業制度創設の経緯



不妊治療には、多額の費用がかかります。これまで、富良野市内の不妊に悩むご夫婦に対する不妊治療費の助成は、北海道が実施してきましたが、平成28年度からは、市も助成を行うことにより、不妊治療に係る経済的な負担の軽減を図ります。

事業制度の概要

- 対象となる治療は、体外受精及び顕微鏡受精です。
- 対象者は、北海道の特定不妊治療費助成事業の助成決定を受けた夫婦です。（ただし、妻の年齢は43歳まで）
- 助成額は、特定不妊治療に要した経費から、北海道の助成額を差し引いた額で、助成限度額は1回15万円です。
- 助成回数は40歳未満が通算6回まで
- 40歳以上の場合は、通算3回まで



子育て世帯の経済的負担の軽減

満1歳になるまでの経済的負担軽減

富良野市の出生数が減少し、少子化が進行するなか、安心して子どもを産み育てることのできる環境を整えるため、紙おむつの購入費の助成やおむつ用ごみ袋の給付を本年度から実施しています。

おむつ券助成事業

- 満1歳になるまでの乳児を養育する保護者を対象に、購入時に使用できる乳児用おむつ券(商品券)を交付します。
- 交付するおむつ券は、乳児一人につき1ヶ月3,000円相当とし、最大12ヶ月分です。



おむつ用ごみ袋給付事業

- 満1歳になるまでの乳児を養育する保護者を対象に、市指定の衛生用品ごみ袋を1ヶ月5枚、最大12ヶ月分を給付します。



多子世帯への経済的負担の軽減

出産祝金の給付

- 第3子以降の子どもの出産に際し、出産祝金を平成28年度から給付します。
- 対象は、市内に住所を有し、現に22歳以下の2人以上の子を養育し、第3子以降の子どもを出産した世帯の保護者です。
- 祝金額は、10万円を給付し、うち5万円分は、ふらの市内共通商品券を給付します。



就学助成事業

- 第3子以降の子どもが、市内小学校の第1学年に就学する際、就学助成金として、対象児童1人につき、5万円を支給します。



子育て家庭にやさしい環境整備

図書館授乳施設整備事業



授乳スペース



おむつ交換台

子育て支援環境整備事業

乳幼児がいる家族が、安心して外出できる環境づくりを図るため、市内の事業所やお店が、授乳及びおむつ替えなどのための設備や施設を整備する場合に補助金を交付します。

【対象施設】

- 市内で日常的に多くの市民が利用する施設

【補助対象経費】

- 授乳・おむつ替えに係る施設整備・設備工事費
- 授乳・おむつ替えに係る備品購入費

【補助率】

- 事業費の50%以内で上限20万円

森林学習プログラム推進事業

東京大学北海道演習林との地域交流協定の締結

市では、東京大学北海道演習林と地域交流協定を結び、恵まれた森林環境を教育目的で有効活用し、市内小中学生を対象とした森林環境教育を進めることで、森林のはたらきや生き物と環境の関わりなどに理解を深め、郷土愛を育むための「森林学習プログラム」の開発を進めております。



本年度の主な取り組み

- 神社山自然散策路の環境整備（危険木の除去、歩道整備、草刈等）
- 市内小中学生を対象に森林学習プログラムの開発
- モデル校によるプログラムの試行
- 子どもたちを森へ案内するガイドの発掘・育成と体制の整備



ふらのまちづくり未来ラボ推進事業

富良野を愛し、「ふるさと富良野」に心が向く取組み

子どもたちには、小さな頃から地域社会との関わりを深め、生まれ育った地域への誇りと自らがこの地域で自立していく気概を持つための「学びの場」が重要です。本事業は、子どもたちが地域の各分野で活躍している大人たちとワークショップ学習を行い、富良野の魅力の発見と、自らが参加できる地域社会づくりの実践を通して、富良野を愛し、将来、「ふるさと富良野」に心が向く郷土愛を育むことを目的としています。

主なワークショップの内容

- 「空から鳥になって」ワークショップ
～ふらのを知ろう～
- 「見て、作って、食べて」ワークショップ
～美味しさを探そう～
- 「まちをつくろう」ワークショップ
～ふらのゆめらんたん～
- 「はたらく人になって」ワークショップ
～ウエディングプランナー～



4月23日(土)に開催した～ふらのゆめらんらん～

市内のしごとと情報をお届けするWEBサイト

企業紹介・求人掲載の 情報サイトを開設

富良野市にはどんな
企業があり、どんな仕
事をしているのか？

富良野らしい“しごと”
のやり方がここにあり、
そんな富良野の魅力を
伝えていける情報サイ
トを開設しました。

特に未来の担い手
である若者が情報を取得
する媒体として、よく使
用されるスマートフォン
やタブレット端末にも対
応したWEBサイトとし
ています。

Furano Job Style

STORY
まちなかに、賑わいを

地元の魅力を見直し、アパレルから始める
異業なまづくり。

READ INTERVIEW

富良野市の「しごとと情報」をお届けするWEBサイトができました！

「打出予備し」という言葉があるように、意外な出会いと感動が溢れる富良野にも「ワクワクするしごと」や「やりがいのあるしごと」が多くあることをご案内したい。そんな気持ちを込めて、富良野市の魅力を伝えています。

富良野らしい「しごと」や「仕事」を伝える。そんな富良野の魅力を伝える情報サイトになればと思っています。特に、これからの富良野市を担う若い世代の方をターゲットの中心として提供させていただきます。

平成29年度は5月より企業紹介・求人掲載についての調査を行っていく予定です。詳しくは今後このサイトで発信していきます。

富良野市役所 / 富良野市福祉部 電話 0177-26-1111

Copyright © 2017 Furano Job Style All Rights Reserved.



まちなか回遊促進拠点づくり基礎調査事業

中心市街地の課題

- 中心市街地で賑わい回復をしているのは、「フラノマルシェ」や隣接する商店街と一部地域であり、他の地域へ賑わいを波及させ、中心市街地全体(30ha)の活性化を図るためには、まちなかを回遊するための仕組みづくりが必要である。
- 既存ストック(旧三番館)を核拠点到に空ビルを再生し、「フラノマルシェ」と連動させながら、活性化の取り組みを点から線、線から面へと発展拡張させる必要がある。

基礎調査の概要

- 中心市街地のまちなか回遊促進に向けたマーケティング調査
- 既存ストック(旧三番館)の有効活用に向けた基礎調査



空ビルの再生が望まれる旧三番館

金融機関との「地方創生に関する包括的地域連携協定」

協定の内容

富良野市と旭川信用金庫、株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行、空知商工信用組合、北海道労働金庫、ふらの農業協同組合、株式会社日本政策金融公庫は、本市の「まち・ひと・しごと創生」に関する総合戦略の各分野において相互の資源を有効に活用し、積極的な連携及び協力による協働活動の推進により、人口減少抑止や地域経済活性化の実効性を高めることを目的として、次のとおり包括的地域連携に関する協定を締結する。



連携事項

- ① 中小企業の支援に関すること。
- ② 創業支援、企業誘致など地域経済活性化に関すること。
- ③ 地元就職など雇用促進、人材確保に関すること。
- ④ 担い手の育成・確保など農林業振興に関すること。
- ⑤ 特色ある地域資源を活かした観光振興に関すること。
- ⑥ 中心市街地の活性化に関すること。
- ⑦ 移住・定住の促進に関すること。
- ⑧ 結婚、妊娠、出産、子育て支援に関すること。
- ⑨ 地域資源を活かした環境教育、人材育成に関すること。
- ⑩ その他、地方創生の実現に向けた取組みに関すること。